

KUMAMOTO

熊本に咲く

安心の華

熊本県ではいつまでも楽しく、元気で、安心して暮らせる「くまもと」を実現するために様々な取り組みを行っています。

認知症 サポーター 養成率日本一

県民の約8人に1人が認知症サポーターです。見守りなどの支援活動も広がっています。



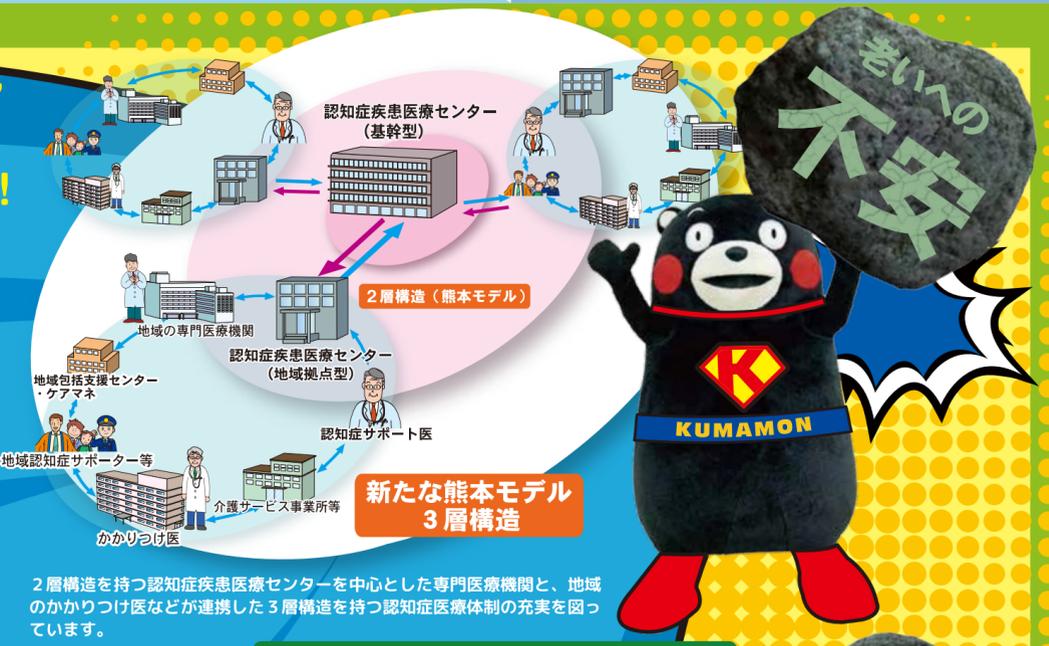
認知症はみんなで支えるもの！
認知症カフェや施設などで認知症の方の話相手になっています。「認知症サポーターステップアップ研修」を受講したことがきっかけとなり仲間と活動を始めました。活動メンバーを増やして認知症の方を支えていきたいです。
錦町傾聴ボランティア「和み」 高田あき子さん

認知症は一人で抱え込まないで！
昨年2月認知症患者の家族の声で「ニコニコえがおの会」を立ち上げました。県の補助事業で地域の皆様を対象に研修会を行ったところ、本会への参加者が増えました。認知症支援の輪が広がったことを実感しています。「ニコニコえがおの会」サポート応援団 医療法人精翠会吉田病院 植竹 大充さん



新たな“熊本モデル” 3層構造で 認知症の人を支える！

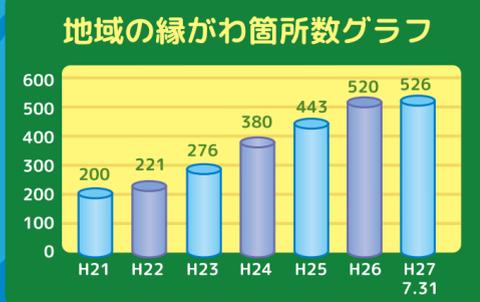
9月に開催したアジア認知症学会でも、多くの関係機関が連携する“熊本モデル”の取り組みをPRしました。



長寿を楽しむ 熊本！

地域の縁がわが 増えてます！

地域の縁がわとは、地域の誰もが、気軽に集い支え合う地域の拠点のことをいいます。



孤独

災害

洪水

地震

熊本が南海トラフ地震から九州を守ります！



阿蘇くまもと空港が国から大規模な広域防災拠点に選定！

熊本地方合同庁舎B棟が国の現地対策本部の候補施設に選定！



予防的避難が行われています

深夜に大雨が予想される場合、日没前の安全な時間に住民へ自主避難の呼びかけが行われています。



すべての道は 熊本に通じる！

広域防災に欠かせない交通基盤の整備が進んでいます。



防災関係機関の連携が大事です！

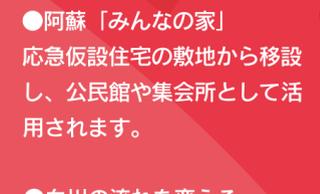


孤立地域に係る防災実働訓練で、自衛隊ヘリから地上へ降りるパトカー

単なる復旧ではない再生を！ ～創造的復興～



●木造仮設モデル住宅 県産材を使い建設した「くまもと型木造仮設モデル住宅」を全国へ発信しています！



●阿蘇「みんなの家」 応急仮設住宅の敷地から移設し、公民館や集会所として活用されます。



●白川の流れを変える 熊本市龍田陳内地区の白川河道を付け替えています。



暮らしの 安心を 確保！

熊本県版タイムラインを策定しました！

大雨及び台風に対する県、消防、警察などの防災行動を共通の時間軸で整理したものです。詳しくはこちら

熊本県版タイムライン 検索

次回は 百年の礎を築く